

宮城の未来をつくる **STAGE** 舞台



01

STAGE

経済商工観光部
産業立地推進課
企業誘致第三班

2024(令和6)年4月に新設された新しい班。将来の宮城のあるべき姿や目標を掲げた「新・宮城の将来ビジョン」における半導体関連産業分野の個別戦略として、2025(令和7)年3月に策定された「みやぎ半導体産業振興ビジョン」に基づき、宮城県を日本における半導体生産の重要拠点とするべく活動。半導体関連企業の誘致や、県内の半導体関連企業への支援等、地域活性化につながる取り組みを行う。



企業の投資計画は機密情報に当たるものも多く、企業との信頼関係を築くことを心がけています



関わった案件が実現したときに、大きな達成感を得られます

「みやぎシリコンバレー」を
実現するべく
半導体産業の誘致に挑む



02

STAGE

総務部
行政経営企画課
働き方改革推進班

デジタル技術を最大限に活用し、業務の生産性向上と業務プロセスの改善に取り組む班。さらに、職員一人ひとりが成長と働きがいを実感しながら業務に取り組めるよう「働き方改革の推進」「庁内複業制度※1」「短期業務支援※2」「事務の管理改善」など、職員から寄せられる様々な業務上の困りごとや要望を聞きながら、働きやすい環境づくりを推進する。

※1 庁内複業制度…本来の業務とは別に業務時間内で業務改善や県の課題解決に向け、部署を横断して活動できる制度
※2 短期業務支援…繁忙期の部署などでの一時的な人手不足に柔軟に対応するため、応援職員を短期間派遣する仕組み



鍵管理システムでは、これまで紙の管理簿を使い、手渡りで鍵を管理していたものをシステムで管理可能に。貸し借りの手間が減りました



オフィス改革では、職員の提案で職場のレイアウトを変更するなど、働きやすい環境と明るい雰囲気醸成を後押ししています

宮城県では、職員の成長や働きやすさを後押しするため、働き方改革を推進しています。中心となって取り組む働き方改革推進班では、職場環境の整備に取り組んでいます。職員から寄せられる業務上の困りごとや意見の窓口となっているため、取り組む内容は多岐にわたります。最近では生成AIを活用した業務効率化を推進しています。また、公用車・会議室鍵管理システムを構築し、システム上で公用車や会議室の予約、鍵の管理を可能にしました。

一方、ツールやシステムを整備するだけではなく、それを活用しやすい雰囲気の醸成や働きやすさと明るさを備えた職場環境づくりとして、オフィス改革にも取り組んでいます。職員からも好評を得ており、今後はオフィス以外での新しい働き方の検討も行っていく予定です。多くの人が「働きたい」と思う魅力ある職場環境に向けて、これからも取り組みは続きます。

夢中になれる仕事が、きっと見つかるはずです

班員同士で情報共有を行って業務が偏らないように心がけたり、時差勤務制度を利用したりと、働きやすさにも気を配っています。宮城県の仕事は多岐にわたり、入庁前にはイメージできなかった仕事の中に、夢中になれるものが見つかるはずです。一緒に、宮城の未来をつくっていきましょう。

経済商工観光部
産業立地推進課
企業誘致第三班
さかきだ
神田さん
2019(平成31)年度採用



学びを深める機会が多く、成長を実感できる環境です

日々進化する生成AIを活用するため、関連するイベントに参加するなど学ぶ機会が多く、自分自身の成長も感じています。働きやすい環境づくりは、「働く人を大切にしたい」というメッセージです。大切なあなたとともに、県の未来をつくりたいと考えています。

総務部
行政経営企画課
働き方改革推進班
みずがひ
水谷さん
2008(平成20)年度採用

